

多角的視点から見る日本文化

ライター：黄建誠、町田啓

エディター：谷藤莉里子

「日本文化のどんなところが好きですか？」

グローバル化が進む現代では、日本の文化に興味を持つ外国人も多く、上記のような質問を投げかけられることがあるかもしれない。日本の文化を理解し、親しむことは日本人のアイデンティティーの一部であり、また日本の文化について情報を発信することも重要なことだ。

日本文化を広めるメディアの一つに **MATCHA** という訪日外国人向けの Web サイトがある。“食べ物”、“文化”、“オタク”などのカテゴリーごとでも記事を読むこのサイトは、日本語とやさしい日本語のほかに、英語や中国語、韓国語などアジアを中心とした 7 言語に対応している。他の訪日外国人向けの Web サイトが取材に行かずに記事を書いているのに対し、**MATCHA** は取材に出向き記事を書く。さらに、この Web サイトには興味深い点がある。日本文化について外国人のライターから書かれた投稿も掲載しているのである。自動翻訳ではなく、各言語で書かれた記事が掲載されるため、表示言語を変えれば、全く異なる記事が出てくる。つまり、外国人から見た日本の文化がどのようなものなのかがわかるのだ。

「日本の文化が日本人にあまり知られていない」

そう語るのはこの Web サイトを立ち上げた青木 優氏だ。大学在学中に日本文化に関係する仕事をしている人がほとんどいないことを知り、さらに海外に行って自国の文化を説明できなかつた不甲斐なさがこの web サイトを立ち上げたきっかけだったと青木優氏は語る。この web サイトを作る会社を立ち上げる前、青木氏は日本の地域文化を紹介する動画作成会社に勤めていた。しかし、動画の作成にはコストがかかりすぎるため、その限界を感じ、インターネットを通して日本の文化を発信しようと **MATCHA** を立ち上げた。

MATCHA は、訪日外国人向けのサイトだが、日本人の知らない文化や、各地域の魅力などを日本人にも提供している。自国の文化が外国人からどう見られているのか。これを知ること日本文化をより深く知る手助けになる。日本の各地域の良さを日本中、世界中の人に伝えようとしている **MATCHA** のようなメディアを通して、我々日本人も新たな日本文化を発見できるのではないだろうか。

編集後記

「日本の可能性は東京だけでなく、都道府県すべてにあり、私たちはそこに価値を見出していきたい。」青木さんは言った。今後、企業は自動車、半導体などの物を売るだけでなく、地域ごとに異なる特色がある物を見出す必要があると彼の話聞いて思い始めた。しかも、マッチャの皆様はいつも当地に行き、自分の目で見たものから記事を書く現場主義に共鳴した。これは我々三田キャンパスと同じ理念ではないかと思う。(黄建誠)

日本の文化には多くのよさがある。グローバル化が進む現代では、そのよさをより多くの人々が理解し、外国人に伝えられるようになる必要がある。
MATCHA のようにいろんな人から見た日本の文化を発信するメディアが増える事を私は祈っている。(町田啓)